

京轍等の報告を聞き、今まさに、6つの配送ワーカーズを1本化するという埼玉の自分たちが抱えている問題を共有でき、参考になりました。また事業展開や社会における課題について議論ができ、今後の業務の推進に役立てていきたいと思いました。毎回講座を受ける度に、初心に帰り自分を向上させられる全国大会でもありました。

(つくし・表野)



「第5分科会：いのちをつなぐおいしい食事」 事業の継続と発展のために

WNJ全国大会2日目の第5分科会、『いのちをつなぐおいしい食事～食関連ワーカーズ・コレクティブの可能性と課題』に出席しました。

スピリットの白井さんの講座と4つのワーカーズからの事例報告でした。

白井さんのおっしゃる通り私もビジネス書など手に取ったこともなく、チラシをただ漠然とまま～にまくだけだった。計画を立て効率率を出すということ、私たちの「売り」はコレ！と信じていた「安全・安心・手作り」にはもう人は惹かれないと話に混乱しながらも、初めて聞くマーケティングの話は新鮮で（もっと早くに勉強すべきでしたが…）おもしろく、あっという間の2時間半でした。

私たちはワーカーズ、一人一人が経営者です。「儲け」を追求はしないけれど自分達の事業を継続させ、発展させ、働きに見合った報酬は得なければならないと思います。

この先食の事業はどういった方向に向かっていくのかはわからないけれど、ワーカーズだからこそできるサービス、商品を作りあげていくことが大切だと強く考えさせられました。

(旬・根岸)



よろしく

WNJ食の共同事業会議のロゴとキャラクターができました。 のぼり旗（大型・卓上型）Tシャツもあります。

「ツアー：西成区の株式会社と作業所の見学」 ハンディがあっても楽しく働く場をつくる

大阪西成区で様々なハンディのある人たちと共に働く場をつくり、事業を展開している株式会社ナイスと小規模作業所ポッポを見学しました。

ポッポさんは25年前の1988年設立で、設立者自身が重度の身体障がいを抱え何とか自活したいとの思いのもとに開店したとのことです。現在、障がい者8人と健常者3人で「ポッポベーカリー」を



ポッポの
焼きたてパン

運営し手作り無添加の美味しいパンを作り、販売、喜んでもらおうと日々頑張っているそうです。



くらし組合の事務所

株式会社ナイスは資本金2,000万円で「小さな会社で大きな仕事」を「やってあげる、やってもらう」でなく「やっていこう」と地域を起こす企業を目指して作ったとのことです。営利だけを目的とせず株式会社の中に非営利の部門があってもいいと、協同による2つの取り組み（オルタナティブなシステム）をしています。1つは「くらし組合」で、老後の安心をみんなで支えあう助け合い。もう1つは「エルチャレンジ」で、働く意欲は働いてこそ、雇用・産業・福祉の好循環としていろいろな活動を起こす。エルチャレンジからの発展で、「公園で寝ていた人」が公園の指定管理者となったNPO法人で働き、「公園で働く人」になっていくとのことです。

日曜日にもかかわらず商店街は人通りが少なく静かでした。今同じような街が増えている中、自分が住んでいる住み慣れた場所で一生を送れるよう、地域に必要なことを考え自分ができることから実践していきたいと思いました。



鶴見商店街

見学の最後に頂いた、ポッポさんのクリームパンとあんパンはとっても美味しいかったです。

(つどい・布留川)